

政府ノ建議ニ照シテ外交交渉成否ノ見地
決定ノ時機ニ關スル要旨

昭和十六年九月二十五日
陸軍部
命令
陸軍部

判 決

帝國國策進行要領ニ伴フ帝國ノ對米（英、蘭）閉鎖決意ノ時機ニ關
シテハ作戦上ノ要請ヲ重視スヘク之ヲ爲日本外交交渉ハ一日々速力
ニ其ノ成否ヲ判定スルヲモ十月十五日起ニ政府ノ建議ヲ決スル要旨

理 由

一 帝國國策進行要領ニ於テハ十月上旬頃ヲ以テ對米（英）交渉ノ成
否ニ對スル見地ヲ定ムルコトトシテ其ノ目的ナキ場合ニ於テハ
直ニ閉鎖ヲ決定スルヲ旨決定セラルルヲ以テ政府ノ建議ニ關

スル大方針ハ既ニ明確ニシテ要ヲ得ルル餘地ナシ
 焉。下ニ於ケル普通戦争資源ノ持久性並ニ米糧ノ取調準備ノ進捗等
 見ルニ一月ノ経過ハ即チ之ニ影響スル作戦上ノ不利ヲ結果スル
 ハ勿論ナリ。殊ニ南米戦ニ伴ヒ「ソ」情況ノ大イニ考慮ヲ要ス
 ハキハ論スル迄モチテ對北方問題ノ已ムナキ結合ニ懸念スルニ過
 シ。明年秋冬期（三月中旬以降）迄ニ南方作戦ノ骨幹ヲ終了シ以
 テ北方ノ準備ニ應スルノ趨勢ヲ組織スルコト相討ニ必要ニシテ實
 際冬期ノ利用ヲ以テ戦争指導上ノ一大要素ト成スモノニシテ取
 ノ準備ヲ決スルニ當リ最ニ之ヲ兩湖スヘカラス。故ニ時日ノ経過ハ
 評價ヲ未ダニ要ス。戦争指導ヲ先端ニ懸ルコトヲ考ヘ外交交渉成
 立ノ目標ヲキキ於テハ一期ヲ過カニ之ヲ打倒シテ取調ノ準備ヲ興

ヲサルヲ要ス

此ノ見地ヨリスル時ハ南方作戦ノ要務ハ速クモ十一月十五日
ヲ要シ是レ陸海兩統帥部本見解ヲ一ニスル所ナリ

其陸海軍兩統帥部ハ右ノ見地ニ於テ彼年十一月初頭戦ハ遂ニ得ル如
ク作戦準備ニ着手設足セリ

而シテ陸海作戦準備ニ就テ見レハ右準備ハ内地部隊ノ動員、隨時
編成、補給及支隊ヨリ作戦中ノ兵力抽出轉用等ヲ必要トスルモノ
ニシテ之ヲ要務ヲ大別シテ開戦決意前ト決意後トノ二段ニ分テ前
者ハ既ニ後者ニシテ日俄ヨリ歴史ニ據テ開戦ノ後年十月中旬
ヨリ下旬ニ亘リ南支、臺灣方面ニ開戦スヘキ此等行動ハ豫定ノ外
交交渉同時手廻ヲ制シテ支那ノ困難ナラシムルカ知キコトナキ

接為シ得ル限リノ處置ヲ斷シアル處次ヲ發動スヘキ陸軍部派ハ今
大伴親率領ノ主謀ヲ爲シ本月十五日前後ヨリ敵艦ヲ閉鎖シ遊ニ南
部佛印ヲ會入地城ニ取略展開ヲ完了セサルハオマニス此等部隊ノ行
動ハ閉鎖決意ニ基ク大命ニ依リ規正セサレサルハカクテサルハ統帥
上ノ常則トスル所ナリ

以上議アル所ニ依リ全局ノ戰爭指導上統帥南方作戰指導及作戰事
務ノ關係ヨリ且テ取戦ノ轉機ヲ測ルモノ十一月十五日決スルヲ切要
トスルモノニシテ此ノ要請ニ基キ外交施策ヲ展開スルヲ要ス
尙奉作戰準備ノ要請ニ因シテハ統帥部ノ最モ意ヲ用ヒアル所ニシ
テ又外交交渉國ハ作戰準備ノ對手國ヲ刺戟シテ交渉ニ支障ヲ生ス
ルカ如キコトナキ様爲シ得ル限リノ努力ヲ傾倒シテアリ